

KURE KOSEN

 National Institute of Technology (KOSEN), Kure College

呉高専だより



全国高専ロボコン 2023 全国大会出場
全国高専ロボコン 2023 中国地区大会：準優勝

呉高専と保護者をつなぐ情報紙

83号

2024.3

目次

●校長あいさつ	2
このような時こそ 羽ばたけ 呉高専卒業生	
●役職員あいさつ	3
卒業生、修了生へ	
(後援会会長 本園 和徳)	
今年1年を振り返って	
(副校長 篠部 裕)	
本年度を振り返って	4
(教務主事 中迫 正一)	
アフターコロナと能登半島地震	
(学生主事 河村 進一)	
嶺陽寮復活の年	
(寮務主事 黒川 岳司)	
専攻科の状況	
(専攻科長 間瀬 実郎)	
●卒業生・修了生へ	
機械工学科	
みなさん、ありがとう！	5
(担任 水村 正昭)	
電気情報工学科	
ご卒業おめでとうございます	6
(担任 横瀬 義雄)	
環境都市工学科	
卒業に寄せて	7
(担任 及川 栄作)	
建築学科	
わたしたちばんこつなんで（我らポンコツで何が！）	8
(担任 安 箱敏)	
専攻科	
修了生のみなさんへ	9
(専攻科長補 山田 祐士)	
●進路速報（2024年2月現在）	10
●部活動の成果、受賞実績	11



このような時こそ 羽ばたけ 呉高専卒業生

校長 餘利野 直人

卒業生、修了生みなさん、卒業・修了、おめでとうございます。みなさんには入学から今まで様々なことがあったと思います。楽しかったことも辛かったことも思い起こせば一瞬のこのように感じると思います。青春の最も貴重な時期をこの呉高専で過ごされ、みなさんは着実に成長し、卒業証書・修了証書を手にされました。みなさんにとって、卒業・修了は当たり前のように感じるかもしれませんが、多くのハードルを乗り越えてこの呉高専を卒業・修了するということは、世間一般から見れば本当に凄いことであり、価値のあることです。

さて、今年は残念なことに元旦から大きな災害に見舞われました。能登地方で大きな地震があり、翌日には支援物資の輸送にかかわる航空機の衝突事故も発生し、多くの尊い命が奪われてしまいました。犠牲になられた方々には謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

被災地の惨状には心が痛みますが、自然災害はこの国に住む者にとって誰もが無関係ではられません。このような時に、人間社会の生活基盤が工学技術で支えられていることを改めて実感します。工学を学ばれた卒業生みなさんには、それぞれのやり方で社会に貢献していくという気概を持ち、羽ばたいてほしいと思います。我々技術者が社会に貢献できることには限りがないのです。

今年度は、これまで猛威をふるってきた新型コロナウイルスの位置づけが法令上2類から5類に緩和されたことで、世の中がコロナ前の状況に戻ってきました。呉高専でも、年間行事は概ね従来の形で全て開催することができました。

体育祭は、今年からは保護者の方々にもご来場いただき、大いに盛り上がりました。「自分たちはコロナ禍でいろいろな事が制限され、経験できない事が多かったから、それを取り戻す。」そんな学生達の言葉を、各所で耳にしました。学生時代の体験は、楽しかったにせよ、そうでなかったにせよ一生の記憶に残る貴重なものです。みなさんが学生時代の思い出をつくろうと奮闘する姿に、とても感動しました。高専祭も以前の形で多くの方々にご来場頂きましたが、みなさんが自由な活動に没頭し、生き生きとした顔で説明をしてくれる姿を誇らしく思いました。また、球技大会や高専体育大会では、競技に打ち込むみなさんの姿が輝いて見えました。

また、学外の活動でも様々な活躍がありました。今年度はG7が広島で開催され、呉高専から学生が同時通訳やボランティアで参加しました。またプレコン、デザコン、プロコン、Gコンなどでも優秀な成績を残しました。ロボコンは特に印象的で、呉高専が中国地区大会の担当校となり、広のオークアリーナに総出で準備や競技運営に携わりました。会場の立派さに加え、先生方や学生達の献身的な協力により、今までの地区大会にはなかった完璧な準備が整い、その中で選手達もロボットも最高の仕上がりをを見せていました。この一体感と仕上がりには審査委員やNHK関係者も絶賛されており、会場は終始良い雰囲気に包まれ、これこそまさに呉高専の実力と実感しました。結果としては地区大会に入賞し、全国大会に進むことができましたが、全国大会ではロボットが想定外の故障に見舞われ、悔しい結果となってしまいました。これも素晴らしい思い出になることでしょう。

これら一連の行事では後援会の皆様が、ボランティア活動や金銭的な援助を含め、いろいろな形で支援してくれていたことも忘れないでほしいと思います。本当に有難いことと思います。

呉高専の地元の阿賀地区は、ご承知のように高専の周囲に、小・中・高校、特別支援学校、技術専門校、大学が隣接し、これら7つの学校と3つの地元コミュニティでアガデミアという協議体が組織されています。今年度はここで「ふれあい文化発表会」という行事が4年ぶりに再開され、私も初めて参加させて頂きました。呉高専はアガデミアにおいて中核的な役割を担い、先輩たちや先生方による長年の様々な活動実績により周囲から感謝され、同時に期待されています。このように呉高専は地域と協力し、地域からも支えられている学校であることを覚えておいて頂き、卒業後も協力いただきたいと思います。

世の中を見れば、去年はロシアによるウクライナ侵攻に加え、イスラエルとハマスの戦火、そして正月の地震など混迷しています。この先、世界情勢がどのように変化するか予測が難しく、その中で日本は翻弄されながらも、安定した強い社会を再構築していく必要があると考えます。

私はこのようなときこそ、真に呉高専で学んだみなさんの力が必要とされていると思っています。卒業証書を手にされたみなさん一人ひとりに期待がかかっています。みなさんが学生時代にそれぞれつちかった経験を生かし、それぞれの分野でできること、すべきことをしてほしいと思っています。そのとき本校の合言葉である、「Realize Your Dream!」を忘れないでください。呉高専の卒業生・修了生としての自信と誇りを忘れずに、夢の実現に向けて羽ばたいてほしいと思います。



卒業生、修了生へ

後援会会長 本園 和徳

卒業生、修了生の皆さん、卒業、修了、おめでとうございます。

今年度は、昨年度までとは違い本来の学生生活に戻り、最後に充実した一年を過ごされたことと思います。後援会としても、各クラブの大会の支援、学校行事のドリンク支援、クラブプレゼン、私が役員になって初めての一般参加者が来校された高専祭など、充実した活動ができたと思います。これも、日頃から保護者の皆さまが後援会活動にご理解とご協力を頂いたおかげです。有難うございました。

さてこれから、それぞれの将来に向けて皆さんは歩いていくことになりますが、どんなことを思い描いていますか。高専に入学したときは、将来のことを考える余裕も、そもそもそんなことを思うこともなかったかもしれません。でも、今日に至るまでの学校生活、それぞれの学科で学んだ専門的な知識や経験は、少なからず皆さんの進む道の一つの選択肢になったと思います。

今、社会では人手不足と言われ、皆さんにとってはチャンスだと思います。皆さんのように、専門知識や資格を活かす場所はたくさんあり、皆さんを必要としてくれる場所もたくさんあると思います。最初のうちは、不安や悩みを抱えて苦しいことが多いかもしれませんが、一つずつクリアをし、自信をつけその中で自分の夢ややりたいこと、将来のビジョンを見つけ少しずつ形にできたら素晴らしいことだと思います。

最後に、この日を迎えるまで皆さんを応援し、支えてくれた人たちがいつまでも笑顔でいられるようなそんな人になってください。皆さんのこれからの活躍を楽しみにしています。



今年1年を振り返って

副校長 篠部 裕

今年度より副校長を拝命することになりました。副校長以外にも協働研究センター長と技術センター長を兼務しており、呉高専と呉市、そして呉地域の発展のために微力ではありますが、少しでも役に立ちたいと思っています。

キャンパス内ではコロナ明けにより学生のにぎやかな声が聞こえるようになりました。ここでは今年一年を振り返り、皆様に本校の取り組みの一端を紹介いたします。

スタートアップ教育環境整備支援事業として、「デジタルツインを基盤とした次世代DXモデル環境整備と未来評価による起業マインド醸成」というテーマで、事業採択を得ました。何やら複雑なテーマですが、その内容は、コンピュータを活用したものづくり環境と交流環境を整備することで、学生の起業をサポートするというものです。今年は初年度であり、基本的な設備・備品の購入に留まった感がありますが、学生に対する導入研修も始まり、来年度以降は活動も拡大化する予定です。

また、2023年8月に産学官の連携を促進し、産業技術の振興及び地域社会の発展に寄与することを目的に「呉高専地域コンソーシアム」を立ち上げました。これは呉高専を中心に今後呉市における産学官の連携を強め、呉高専の学生や教職員が地域貢献するためのプラットフォーム（組織）づくりのためです。加えて、2024年2月には、「呉市、独立行政法人国立高等専門学校機構呉工業高等専門学校及び公益財団法人くれ産業振興センターの産学官交流及び地域産業活性化の促進に向けた協定書」を交わしました。

本校の学生・教職員による産学官連携の取り組みが、地域へと展開・浸透し、少しでも呉地域の活性化に役立つことを切に願っています。

役職員あいさつ



本年度を振り返って

教務主事 中迫 正一

令和5年5月8日をもって新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されました。これまで3年間に渡り不自由な学校生活を強いられてきましたが、毎朝の検温報告の廃止、マスク着用の考え方を見直すなど、少しずつ通常の生活に戻ってきました。

新型コロナやインフルエンザに罹患した学生もありましたが、本年度の授業は全て対面形式で行われました。4年生の校外実習も企業で実施され、有意義な経験ができたものと思います。教務主事室で計画している保護者授業参観、学校見学会、入試説明会等の行事についても人数制限を設けることなく実施され、特に7月と11月に開催された学校見学会では過去最高となる約1300人の来場があり、盛大に開催することができました。

学生の皆さんには、ようやく制限のない学校生活を送れる状況に戻ってきましたので、将来の目標を見据えて充実した呉高専での生活を送ってみたいと思います。



アフターコロナと能登半島地震

学生主事 河村 進一

呉高専の学校行事は、4年生の学生会役員が主導し、学生主事・主事補がそれをサポートしていますが、今の4年生は2020年入学で、コロナ前の呉高専をほとんど知りません。教職員もコロナ前はどうかだったかと思い出しながら1年間奮闘してきました。呉高専最大の行事「高専祭」も一般来場者ありで実施しましたが、予想を超える来客でパンフレットが底をつくほど、模擬店の売り上げも過去最高とされます。模擬店利益の一部を、ここ数年は呉市に寄付していましたが、今年度は能登半島地震で大きな被害を受けた石川高専の震災復興基金として約90万円を寄付しました。寄付目録を手渡すために石川県を訪れましたが、呉高専の地震想定と同じ震度6弱～6強の揺れに襲われた七尾駅前や和倉温泉も見えて歩きました。津波の被害はないところでしたが、RC造のホテルが地盤の液状化で大きく傾いているものもあり、衝撃を受けました。

学生主事の仕事ではないかもしれませんが、防災教育を専門と掲げている者として、学生が安心して学校生活を送れるよう、呉高専の地震・津波災害対応もグレードアップしていきたいと思っています。



嶺陽寮復活の年

寮務主事 黒川 岳司

2023年4月に寮務主事に就任し、もうすぐ1年です。この場で、“大過なく”と報告したかったのですが、初っ端に火災事故がありご心配をおかけしました。ただ、寮生たちの適切な初期対応のおかげで“大火なく”小火で済み、寮生の行動力に感心した次第です。そんな波乱の幕開けとなった令和5年度の嶺陽寮は、5月に新型コロナが5類となり、感染症に敏感な寮もコロナ前の活気ある本来の姿に戻す1年となりました。

役員・ライフマスターを中心とした自治的な活動が活発になるように、役員会は定期的に開催し、幹部会も復活させました。指導者研修会は前期・後期で2回行いました。行事はすべて復活させ、寮生みんながより楽しめるものに進化させようと寮生会に働きかけ、新入寮生歓迎行事、春の寮祭、寮祭は、4年ぶりの開催で大いに盛り上がりました。寮の文芸誌「こげむすび」も品良く大復活です。反対に、朝のラジオ体操を復活させなかったことは好評でした。

活気を取り戻した嶺陽寮ですが、いくつかの残念な事件も発生してしまいました。次年度は、活気がありつつ穏やかな寮となるよう取り組んで参ります。



専攻科の状況

専攻科長 間瀬 実郎

令和5年は専攻科の授業、研究はコロナ前の状態にほぼ戻りました。授業での勉強はもちろん、研究活動もさらに活発になり、多くの学生が学会など発表をしています。

また専攻科1年生の長期インターンシップもほぼすべての学生が外部機関に行くことができました。インターンシップが本格的に実施でき、実社会での貴重な経験をすることができました。

令和6年度（入学者）の専攻科入試は、今年度も順調に実施できました。30名が入学する予定になっています。また呉高専専攻科から広大大学院に進学する際の新しい入試方法「特別推薦入試」を受ける専攻科1年の学生が3名います。来年度はさらに多くの学生がこの入試によって広島大学大学院を目指す予定です。

今後も学生の勉学意欲や学生生活がさらに活気が増すことを期待しております。

機械工学科



みなさん、ありがとう！

機械工学科5年担任 水村 正昭

元号が平成から令和になり、呉高専の教育システムも新カリキュラムに切り替わった最初の学年として皆さんは入学されました。新しい時代の先駆者として期待された学年です。

また令和2年から始まったコロナ禍では、オンライン授業や部活動停止など、どの時代にもなかった経験をしてきました。そんな稀有な時代の中でも遅しく高専生活を過ごし、コロナ禍も若干収まってきた令和4年に私が皆さんの担任になりました。

一方の私はというと、皆さんが入学した1年後の令和2年4月に呉高専に赴任しました。つまり、呉高専においては皆さんよりも私の方が1年後輩です。それ以前は千葉県の鉄鋼会社に30年以上勤めておりました。

会社にいた頃は、自分が学校の担任の先生になることなど夢にも思っていなかったのも、うまく担任が務まるか不安でした。しかし、いざ皆さんの担任をしてみると、なんと楽しいことか！毎日いろいろなことが起こり、飽きることがありませんでした。大変なこともありましたが、つらいと思ったことは一度もありません。北海道の特別見学旅行や高専祭での唐揚げの模擬店など、皆さん以上に楽しんでいました。

一方、4年、5年で避けて通れないのが就職・進学です。しかし、私が思っていた以上に、皆さん自分の将来と真剣に向き合って、積極的に動いておりました。私はほんのちょっと後押しするくらいでした。その結果、全員の進路が無事決まりました。皆さんの学年は非常に成績優秀でしたので、進学比率が高くなると予想していましたが、実際には就職23人、進学17人と、就職比率が高くなりました。皆さん一人一人が真剣に考えて選んだ道ですので、私は全員の進路を応援したいと思います。

私にとっては初めての担任でしたので他と比べることはできませんが、最高のクラス、最高の学生に巡り合えたと思っています。私自身は昨年還暦を迎えましたが、まさかこんな年になってこれほど楽しく充実した2年間を味わわせて頂けるとは思っていませんでした。皆さん、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、皆さん卒業おめでとうございます。高専生活、楽しかった思い出もたくさんあり、新しい環境に変わることはちょっと寂しくて不安もあるかもしれませんが、これからの長い人生、つらいことや悲しいこともあるかと思いますが、その何倍も楽しいことが待っています。羨ましい限りです。精一杯楽しんで下さい。

電気情報工学科



ご卒業おめでとうございます

電気情報工学科5年担任 横瀬 義雄

今年卒業するこのクラスは平成最後の年に入学されました。色々な出来事がありましたが無事に卒業して旅立ちます。

43名の新生が電気情報工学科に入学し、1年生の間は珍しく他高専からの編入生を迎えました。私が30年以上在籍している間に多くの留学生や高校からの編入生はいましたが、他高専から電気情報工学科に編入されたのは初めてだと思います。進路変更等で一緒に卒業できない人もおりますが、無事に卒業が決まり安心しております。

在学中は色々なことがあり、1年生の時は先ほども書いた他高専から編入生を迎えました。2年生はコロナウイルス対策の行動制限により慣れない遠隔授業が始まり、楽しみにしていた海外研修旅行が中止となりました。また、海外研修旅行の代わりに4年次に特別見学旅行を行いました。旅行は3日間に短縮されたため、ゆっくり見学する時間も少なく終わってしまったように思います。

写真は、見学先の「三菱電機ビルソリューションズ」で写したものです。この他に「東京電力」や「秋葉原の電気店街」、「東京スカイツリー」の見学も行いました。多くの場所を訪れた割に、2泊3日間だったので非常に短く感じた旅行でした。

さて、卒業後は様々な進路に別れて進むことになりますが、在学中の5年間に過ごした仲間たちと時々集まってほしいと思います。懐かしいと思うだけでなく、色々な人生をそれぞれが過ごすから沢山の情報を得ることができると思います。5年間同じメンバーで過ごした仲間は人生の大切な宝物になることでしょう。

特に、これから先の長い人生を過ごす間には、大きな壁に当たることや悩むこと、迷うこと等があるかと思いますが、その時は、身近な同僚や家族、仲間と相談することも大切ですが、クラスメートの同級生から貴重な意見を聞くことも重要だと思います。「使えるものは使う、頼れる人には頼る」を思い出していただければと思います。

皆さんお元気でお過ごしください。そして時々高専に顔を見せてください。

環境都市工学科



卒業に寄せて

環境都市工学科5年担任 及川 栄作

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は1年間ですが、5年生の担任を務めさせて頂きました。皆さんは、2年生の4月からコロナウィルスによるパンデミックの影響を受けて、授業がオンラインに切り替わったり、学校行事が縮小するなど、思いも寄らず先の見えない月日を4年生までの2年間過ごすことになりました。クラスメート同士の活動も減る中、実験実習は対面でできたことは幸いでした。

人の心身の成長に最も重要な時期に起きたコロナ禍ですが、この3年間あまりに変わった社会生活を20年後に振り返った時に、自分たちが高専の学生時代に過ごした時期が、新しい世の中のターニングポイントになっていたと気づくことでしょう。コロナ禍は悪いことではありませんでした。物流の無人化や非接触化、電子化が加速度的に進みました。我々教員もオンラインでの講義や会議、課題作成などのツールを使いこなすことができるようになりました。

社会の通信システムがG4からG5へと高速大容量の伝送化が進み、建設現場ではドローンが飛びはじめ、現場をVRで事前に確認してから現場へ入り、建設重機を遠隔地で操作する世の中は、皆さんが高専に在籍する時代に大きく進歩しました。Chat GPTなどの生成AIも生まれ、社会へ出た時にはアンドロイドAIが相談相手になっているかも知れません。

1年間を振り返ると、4月の新学期が始まるや否や、私は就職と進学のおすすめ書作りから始まりました。皆さんのクラスは、進学希望者がクラスの半数を超え、これまでの環境都市工学科で最も進学希望者が多いクラスでした。進路先は、ほぼ希望通りに決まり何よりでした。学校行事に於いては、学生会会長を務めた学生、運動部の主将を務めた学生も在籍するなど、高専祭、体育祭で活躍され、特にクラス対抗球技大会では、バスケットボールとソフトテニスで優勝しました。選手宣誓では、仮装を取り入れたユーモアのある環境都市工学科の伝統芸を見せてもらいました。

書店の店頭には、動物で人だけが老化する意味を説明する書籍が並んでいます。皆さんはこれから人の生物としての寿命とされる年齢に近づき110歳（スーパーセンテナリアン）となるまでの長い社会生活が始まります。これから数々の失敗と成功を経験して知識や技術の熟練者となり、シニア世代を迎えることでしょう。次の世代へ知識や技術を伝承して、より豊かな社会生活を築き上げて行くこと。これが人の老化しながら長生きする理由の一つです。皆さんの輝かしい未来を祈念しています。

建築学科



わたしたちぽんこつなんで（我らポンコツで何が！）

建築学科5年担任 安 箱敏

2年間の皆さんとの担任生活で一番に残るつぶやきでしょうか。明るい笑顔で無邪気に吹き出す許しの求め。その潔さに感動までしちゃったことをよく覚えています。ある意味、とても勇気付けられた返事でもありました。

一先ず、5年間の呉高専生活、大変お疲れ様でした。

何より全員が無事に卒業できたことをこの場を以て祝いたい。おめでとうございます！

皆さんとの担任生活は、新学期早々の重大事件解決のために手を煩うことから始まり、コロナ禍では検温報告の常時最下位というレッテルが貼られ、卒業間際の今はクラスの半分ほどがカラフルヘッド。特定のクラスに目がつけられているという噂でもない噂にハラハラ感満載のスリル満点な2年間でした。そういえば、私としては4年間の4・5学年の担任卒業でもありますね。コロナが流行し始めてしばらくしてからのオンライン授業や面談にやっと慣れてきたと思いはじめたときに会った皆さん。日常も徐々に落ち着いていく最中でした。少しずつ外出も許されはじめた時期でしょうか。その間には円安が進んだことまで重なり海外旅行は難しくなったものの、思えばGoToトラベルどうのこうのといっていたその時期に東京ディズニーランドに出掛けてもよかったと今更少し悔しく思ったりもします。考え方の変化も現れましたね。

今までの常識が崩れ、生きていく要領だけを巧みに（たまにはずる賢く）磨いていく様々な姿に少しがっかりすることもありましたが、色々な考え方があるものと今は理解をしています。これも今流行りの多様性あるSDGsの一種ですかね。組織をコントロールする既存のルールがなかなか通用しない。特に「我らポンコツ」は全くコントロールが効かない。むしろコントロールされない 笑 振り返ってみると、自由気ままでありのままの姿を見せていただけたと！楽しい思い出ばかりです。

その中には誇りに思える呉高専史上初の業績を残してくれたものもいたし、驚きもたくさんありましたね（数年ぶりの体育祭での建築学科優秀もよく覚えていますよ～）。コロナ時代の恩恵を一番に受けたクラスだと言われてもいるようですが、それには全く同感です 笑

これからはあなたたちが主人公です。呉高専を卒業しますが、（責任を伴う）本物の自由を満喫しながら伸び伸びと成長してってください。これからも皆さんの輝かしい活躍を心から祈っています。2年間ありがとうございました！最高のポンコツでした！

専攻科



修了生のみなさんへ

専攻科長補 山田 祐士

令和5年度修了生のみなさん、ご修了おめでとうございます。本科と専攻科を合わせて7年間という長い高専生活を終えて、新たな門出を迎えるみなさんに、心よりお祝い申し上げます。また、保護者のみなさまにおかれましても心よりお喜び申し上げます。

さて、振り返ってみると、みなさんが呉高専に在籍した7年間の半分以上は新型コロナウイルスに翻弄されていたように思います。専攻科に入学した時点では新型コロナウイルス感染症の位置付けが季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられていなかったため、学業や課外活動に影響を及ぼしていたのですが、みなさんは本科での経験を生かして何事もなかったように乗り越えられたような気がしています。

従来の2専攻「機械電気工学専攻」「建設工学専攻」から、複合型の1専攻「プロジェクトデザイン工学専攻」に改組されて久しいのですが、今年度になって初めて専攻科の全系の授業を受け持ったことで、自身も複合型の専攻科の良さを体験しました。定員も本科定員の25%と以前に比べて大幅に増やしていることから、本科から専攻科まで連続した7年一貫教育の体制になっていることを感じました。

特に本科の卒業研究論文を全員で紹介し合い、出身学科以外の学生との研究と融合を進める授業では、複合的な素養や多様性を育てていることを実感しました。実際にプロジェクトデザイン工学専攻と呼ばれる専攻科では「本科で学修してきた専門分野を深めながら、複合的な素養」を身に付けること、「自ら課題を見出し、企画から設計・製作までプロジェクト全体をデザインできる能力」を養うこと、「豊かな人間性と国際性を養い、多様性を涵養」することの3つが目的とされており、さまざまに工夫したカリキュラムで実現しようとしています。修了されるみなさんと一緒にこのような体験ができて私も大変うれしく思います。

最後にこれらの授業で課される難題を無事乗り越えて修了されて行かれるみなさんの今後の活躍を期待しております。また、技術や知識だけでなく、豊かな人間性も身に付けて巣立っていかれるみなさんが地域や世界のためにも活躍されることを信じております。

進路速報 (2024年2月現在)

■本科卒業生 就職・進学先予定先一覧 本科就職先

企業等名	学科	機械 工学科	電気情報 工学科	環境都市 工学科	建築学科
国土交通省中国地方整備局				○	
広島県庁				○	
山口県庁				○	
JFEプラントエンジニア (株)			○		
旭化成 (株)		○			
アマゾンジャパン (同)		○			
エヌ・ティ・ティ・インフラネット (株)				○	○
大阪ガス (株)					○
大阪ガスネットワーク (株)				○	
花王 (株)		○			
(株) アイ・エス・ビー			○		
(株) あい設計					○
(株) アベックス		○			
(株) イリア					○
(株) エム・システム			○		
(株) 三晃空調					○
(株) ジーエス・ユアサコーポレーション		○			
(株) タマディック		○			
(株) 日本製鋼所		○			
(株) ミットヨ		○			
(株) ランドネット					○
関西電力 (株)				○	
キャノンマーケティングジャパン (株)			○		
京セラコミュニケーションシステム (株)			○		
五洋建設 (株)				○	○
三光金属 (株)					○
サントリーホールディングス (株)		○			
清水建設 (株)					○
ショーボンド建設 (株)				○	
創建ホーム (株)					○
ソニーグローバルマニュファクチャリング &オペレーションズ (株)			○		
大成建設 (株)				○	○
太陽工業 (株)					○
大和ライフネクスト (株)					○
中国電力 (株)				○	
中国電力ネットワーク (株)			○		
中部電力 (株)				○	
テルモ (株)		○			
東京瓦斯 (株)				○	
東京ガスネットワーク (株)				○	
東京電力ホールディングス (株)				○	○
西日本高速道路ファシリティーズ (株)					○
西日本旅客鉄道 (株)		○	○	○	
日鋼設計 (株)			○		
日鉄エンジニアリング (株)					○
日東電工 (株)		○			
日本電気計器検定所			○		
パナソニック (株)		○			
富士通 (株)				○	
富士フイルムビジネスイノベーション ジャパン (株)		○	○		
プライメタルズテクノロジー ジャパン (株)			○		
本州四国連絡高速道路 (株)		○			
マツダ (株)		○			
三井ホーム (株)					○
三菱地所コミュニティ (株)					○
三菱重工業 (株)		○			
マルチバック・ジャパン (株)			○		

本科進学先

学校名	学科	機械 工学科	電気情報 工学科	環境都市 工学科	建築学科
呉工業高等専門学校専攻科		○	○	○	○
愛知教育大学			○		
岡山大学		○			
香川大学					○
関西大学					○
北九州市立大学					○
九州大学		○	○	○	
熊本大学				○	
千葉大学		○	○		
電気通信大学			○		
東京大学			○		
豊橋技術科学大学		○	○		○
長岡技術科学大学		○		○	
長崎総合科学大学		○			
名古屋工業大学			○		
奈良女子大学		○			○
広島大学		○		○	
北海道大学				○	
山口大学			○		
早稲田大学					○

■専攻科修了生 就職・進学先予定先一覧 専攻科就職

企業等名
広島市役所
アイリスオーヤマ (株)
いであ (株)
大阪ガス (株)
(株) NHKテクノロジー
(株) あい設計
(株) 荒谷建設コンサルタント
(株) トーニチコンサルタント
(株) 日産オートモーティブテクノロジー
(株) 横河ブリッジ
関西電力 (株)
極東興和 (株)
広成建設 (株)
三機工業 (株)
セイコーエプソン (株)
ダイキョーニシカワ (株)
中国SC開発 (株)
テルモ (株)
東海旅客鉄道 (株)
東京エレクトロン (株)
西日本旅客鉄道 (株)
ビクシブ (株)
富士フイルムメディカル (株)
ヤマハ発動機 (株)

専攻科進学

学校名
九州工業大学大学院
九州大学大学院
京都工芸繊維大学大学院
信州大学大学院
電気通信大学大学院
東京医科歯科大学大学院
東北大学大学院
福岡大学大学院
山口大学大学院
早稲田大学大学院

-部活動の成果・受賞実績-

第59回中国地区高等専門学校体育大会

(団体)

種目	順位
剣道 (男子)	8 位
硬式野球	3 位
サッカー	Bパート 優勝
水泳	総合 4 位
ソフトテニス (男子)	優勝
卓球 (男子)	予選リーグBパート 4 位
卓球 (女子)	予選リーグAパート 3 位
テニス (男子)	優勝
バスケットボール (男子)	予選リーグBパート4位敗退
バスケットボール (女子)	3 位
バトミントン (男子)	1 回戦敗退
バトミントン (女子)	1 回戦敗退
バレーボール (男子)	3 位
バレーボール (女子)	3 位
ハンドボール	2 位
陸上競技 (男子)	総合優勝
陸上競技 (女子)	総合 2 位

(個人)

種目・順位	所属・氏名
陸上競技 (男子)	
100m 3 位	M5 垣内 優真
100m 6 位	E5 柴崎 悠
200m 5 位	M5 垣内 優真
200m 7 位	A4 高島 凜多朗
400m 4 位	A4 高島 凜多朗
400m 6 位	A3 阿地方 蓮
800m 4 位	C3 秋田 隆之介
800m 7 位	A3 花房 拓磨
1500m 3 位	C3 阿良田 尊己
1500m 5 位	E3 近藤 俊輔
5000m 2 位	E4 砂田 拓也
110mH 4 位	E1 牧 明紀
110mH 6 位	A2 岸 大翔
3000mSC 2 位	C2 森宗 汰朗
3000mSC 6 位	M2 武田 康志
4x100mR 3 位	A4 高島、E5 柴崎 M2 垣内、A3 阿地方 M5 垣内、E1 清水
4x400mR 2 位	A4 高島、C3 阿良田 E3 近藤、A3 阿地方 M5 垣内、A3 花房
走幅跳び 3 位	A3 阿地方 蓮
走幅跳び 7 位	E1 牧 明紀
三段跳び 1 位	E1 清水 璃空
砲丸投げ 6 位	M2 垣内 楓牙
砲丸投げ 7 位	M1 川本 蒼一郎
円盤投げ 1 位	A5 福永 亮輔
円盤投げ 7 位	E5 柴崎 悠
やり投げ 2 位	A5 福永 亮輔
やり投げ 6 位	M3 藤代 堅斗
陸上競技 (女子)	
100m 5 位	A2 上岡 珠理
100m 8 位	A2 土屋 日陽香
200m 5 位	A2 齋藤 和
200m 7 位	A4 瀧本 菜々子
800m 1 位	A2 齋藤 和
4x100mR 1 位	A2 齋藤、C5 福嶋 A4 瀧本、A2 上岡 C1 山代、A2 土屋
走幅跳び 4 位	A2 上岡 珠理
走幅跳び 5 位	A2 土屋 日陽香
砲丸投げ 6 位	A4 瀧本 菜々子
砲丸投げ 7 位	C5 福嶋 梨乃
走高跳び (ランキング種目)	A4 瀧本 菜々子

(個人)

種目・順位	所属・氏名
柔道	
男子個人66kg級 2 位	M1 村上 源
男子個人無差別級 2 位	M3 村岡 寛士
女子個人52kg級 2 位	A1 蔵本 なつみ
テニス	
男子シングルス 2 位	M2 内田 歩志
男子シングルス 3 位	M1 江先 真優
男子ダブルス 1 位	M2 内田、A3 山本
男子ダブルス 3 位	M1 江先、C1 宮岡
男子ダブルス 3 位	C5 松本、C5 丸岡
女子シングルス 3 位	A5 竹野 理咲
ソフトテニス	
男子ダブルス 1 位	C5 松岡、A4 上江洲
男子ダブルス 3 位	C5 小林、E5 池田
女子ダブルス 2 位	A3 岩崎、A3 松岡
水泳 (男子)	
背泳ぎ100m 3 位	M1 高雄 康介
背泳ぎ100m 5 位	E2 風藤 龍
背泳ぎ200m 2 位	M1 高雄 康介
背泳ぎ200m 3 位	E2 風藤 龍
バタフライ100m 1 位	C2 大野 智己
バタフライ100m 2 位	M2 水上 凌
バタフライ200m 1 位	C2 大野 智己
個人メドレー200m 1 位	M2 水上 凌
メドレーリレー 4x100m 3 位	E2 風藤、M2 水上 C2 大野、M1 高尾
フリーリレー 4x100m 4 位	M1 高尾、M2 水上 C2 大野、E2 風藤
水泳 (女子)	
自由形50m 1 位	A2 金満 二葉
自由形50m 3 位	C3 三浦 琴葉
自由形100m 3 位	C3 三浦 琴葉
自由形100m 4 位	A1 百相 里花
背泳ぎ100m 1 位	A2 金満 二葉
背泳ぎ100m 3 位	A1 百相 里花

赤字は全国大会出場

第58回全国高等専門学校体育大会

(団体)

種目	順位
サッカー	1回戦敗退
水泳	総合 8 位
ソフトテニス (男子)	予選リーグ 2 位
テニス (男子)	入賞なし
ハンドボール	予選リーグ第4ブロック3位

(個人)

種目・順位	所属・氏名
陸上競技 (男子)	
100m 予選 3 組 3 位	M5 垣内 優真
1500m 予選 2 組 8 位	C3 阿良田 尊己
5000m 決勝19位	E4 砂田 拓也
4x100mR 予選 2 組 5 位	A4 高島、E5 柴崎 M5 垣内、A3 阿地方
4x400mR 決勝 5 位	A4 高島、M5 垣内 C3 阿良田、A3 阿地方
走幅跳び 11 位	A3 阿地方 蓮
三段跳び 記録なし	E1 清水 璃空
陸上競技 (女子)	
800m 決勝 4 位	A2 齋藤 和
4x100mR 予選 2 組 5 位	A2 齋藤、C5 福嶋 A4 瀧本、A2 上岡 C1 山代
走高跳び 6 位	A4 瀧本 菜々子

(個人)

種目・順位	所属・氏名
柔道	
男子個人66kg級 入賞なし	M1 村上 源
女子個人52kg級 入賞なし	A1 蔵本 なつみ
テニス (男子)	
シングルス 入賞なし	M2 内田 歩志
ダブルス 入賞なし	M2 内田、A3 山本
ソフトテニス (男子)	
ダブルス 2 位	C5 松岡、A4 上江洲
ダブルス 入賞なし	C5 小林、E5 池田
ソフトテニス (女子)	
ダブルス 3 位	A3 岩崎、A3 松岡
水泳 (男子)	
背泳ぎ100m 11 位	M1 高尾 康介
背泳ぎ200m 9 位	M1 高尾 康介
背泳ぎ200m 12 位	E2 風藤 龍
バタフライ100m 1 位	C2 大野 智己
バタフライ100m 10 位	M2 水上 凌
バタフライ200m 1 位	C2 大野 智己
個人メドレー 200m 7 位	M2 水上 凌
水泳 (女子)	
自由形50m 1 位	A2 金満 二葉
背泳ぎ100m 1 位	A2 金満 二葉

種目・順位	所属・氏名
第30回西日本地区高専専門学校アーチェリー競技会	
男子団体 (50m・30m) 3 位	A3 重高、M4 浦 E2 河瀬
女子団体 (50m・30m) 1 位	C3 丸山、C3 仁井 C2 稗田
女子個人30mダブル 2 位	C1 吉田 理紗
女子個人30mダブル 3 位	A1 長本 唯楓
第39回中国地区高等専門学校英語弁論大会	
暗唱部門 2 位	A2 川本 蓮珠
プレゼンテーション部門 1 位	E2 秋山 日南子
プレゼンテーション部門 2 位	S1 本庄 晃汰

第105回全国高等学校野球選手権 広島大会
2 回戦敗退 呉高専 0 - 10 広島工業大学高等学校

アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2023 中国地区大会
準優勝 全国大会推薦 【Aチーム】 〆 HARVESTER
技術賞 【Bチーム】 伸・天道虫
アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2023 全国大会
一回戦敗退 【Aチーム】 〆 HARVESTER
第20回全国高等専門学校 デザインコンペティション2023 in 舞鶴
空間デザイン部門 優秀賞 「個性が彩るみち」 審査員特別賞 「開いて、閉じて。」
第34回全国高等専門学校プログラミングコンテスト
競技部門 受賞なし 「NULL(ばい)人月〜表彰ぜんぶ呉〜」

スタートアップ教育環境整備事業 @ インキュベーションスクエア

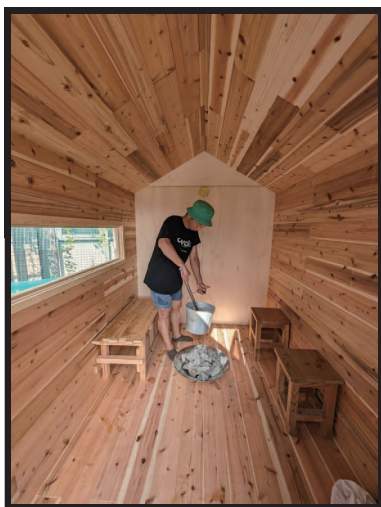


オープンインキュベーションスクエアの様子

ピザ窯制作



クリスマスサイエンスショー



製作したサウナハウス



レーザー加工機

本年度は「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」に呉高専の事業が採択され、学内にデジタルツインを基盤としたモノづくり環境とメタバース交流空間を整備しました。

ものづくり環境としては、既設のものづくり工房である「インキュベーションスクエア」をスタートアップの試作品づくりも行えるように最新設備を導入しました。具体的には、精度の良いレーザー加工機や、金属やプラスチックにカラー印刷のできる UV プリンターなどを導入して、高度なものづくりができる環境を整備しました。夏休みには、導入された機器を使用して皆で自由なものづくりをするイベント「オープンインキュベーションスクエア」を開催して、OB のサポートの下で、学生がピザ窯やドラム缶バーベキューコンロやホバークラフトやサウナハウスを製作しました。また、12 月の地域の子供を対象とした「クリスマスサイエンスショー」では、レーザー加工機で製作した組み立て式のクリスマスツリーキットやホッケーゲームキットで子供達にもものづくりを体験してもらいました。

今回インキュベーションスクエアに導入された最新機器によって、業者と同等のものづくり環境が整備されましたので、来年度以降は学生だけでなく保護者や学外の人もインキュベーションスクエアを使用できるように整備して、地域のものづくり拠点として機能するように取り組んでいく予定です。

(地域実践教育センター長 林 和彦)

呉高専だより 83 号 2024 年 3 月

編集・発行 呉工業高等専門学校 広報室

〒737-8506 呉市阿賀南 2 丁目 2-11

TEL:0823-73-8200 Mail:kouhou@kure-nct.ac.jp



呉高専公式
ウェブサイト